

2019年4月1日
名古屋鉄道株式会社

中部地区で初めて「ESG 経営支援ローン」を成約

名古屋鉄道株式会社（代表取締役社長：安藤隆司、以下「当社」という。）は、株式会社三菱UFJ銀行（頭取：三毛兼承）が実施する「ESG 経営支援ローン」を中部地区で初めて活用し、環境への貢献が優れた資金使途に対するシンジケートローン契約を締結しました。

また、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」という。）のサポートのもと、ESG 評価において、「特に進んでいる ESG 経営」との評価である A ランクを取得しました。

今回、当社が高い評価を受けた点は次のとおりです。

- (1) 「名鉄グループ経営ビジョン」において ESG すべての領域に関する名鉄グループの方向性を明示
- (2) 環境（E）では、社会インフラでもある鉄道事業の省エネを進め、主な GHG（温室効果ガス）排出源である車両において省エネ型を積極的に導入
- (3) 社会（S）では、輸送の安全を確保することを使命として、「安全に関する基本方針」を策定し、鉄道事業に従事する全役職員が一丸となって安全管理体制の強化に向けて取組
- (4) ガバナンス（G）では、「ルールの遵守（法令遵守の徹底）」「安全の確保」「公正な事業活動」「積極的なコミュニケーション活動」「人と社会の尊重」を名鉄グループ企業倫理基本方針として掲げ、方針に沿った施策を推進

併せて、今回のシンジケートローンは、資金使途である CASBEE（※1）名古屋 A 相当の環境性能を有するオフィスビル（※2）について JCR より、グリーンローン原則が定める資金使途・プロジェクトの評価・資金調達の管理・レポートの第三者認証も取得し、最上位の「Green1」の評価を受けています。

（※1）CASBEE：省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム

（※2）2020年夏頃竣工予定の名古屋市西区名駅一丁目に建設する地上14階、延床約19,000㎡のオフィスビル

今後も名鉄グループ一丸となって、環境に優しい企業活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。